

平成25年度校内研究の概要

1. 学校課題

本校は、「自ら学ぶ子ども」を学校教育目標とし、確かな学力の習得と情操豊かで生命を大切にする心の育成のため日々創意に満ちた学校経営に努めている。教育課程の編成や日課表、時間割等の工夫改善を積極的に行い、子どもたちが学びやすい学校を目指している。

本校の児童は、全体的に明るく素直で、いろいろなものごとにもじめに取り組むことができる。30年以上続く伝統の朝マラソンにも意欲的に取り組み、心身ともにたくましく鍛えている。

学習面でも、今までの研究の成果等により基礎的・基本的な力を着実に付けてきた。また、一昨年からの「伝え合い、学び合う児童の育成」の研究では、言語活動の充実を図る指導により、授業等において自分の考えをしっかりともち、みんなの前で発表することを楽しみ、上手に伝えられる児童が増えてきている。また「話すこと、聞くこと」といった、各教科を支える重要な部分が定着してきている。

しかし、「自分の意見を一方的に話す」「話を聞こうとする態度がなかなかもてない」など「共感的な」話し方や聞き方においてはまだ不十分な点がある。また、全ての活動の基盤となるべき集団の形成においては、「集団生活に馴染めない」「他の児童とうまく関わることができずにトラブルを招きやすい」など「コミュニケーション」にかかわる能力が十分身につけていない児童が見受けられる。これは、互いに学び合う学習活動や体験活動を行う上での課題と考える。

2. 研究主題

「伝え合い、学び合う児童の育成」
～学級集団づくりを通して～

3. 主題設定の理由

教育に関わる諸問題と学級集団との関係を研究している河村茂雄教授によると、「学力向上には、生活環境でもあり学習集団でもある学級の状態をよくすることが優先課題である」と、集団と学力との相関性について述べている。子どもたちの自ら学び考える力をはぐくむためには、集団の質を高めることも重要な要素である。

学級集団が子どもたちにとって居心地がよく安心して学習できる場であれば、自分の思いをすすんで伝えようとしたり友だちの意見をより真剣に聞いたりしようと思いが高まり、互いの交流が活発になり、学び合いをさらに深めることができるであろう。そこで、昨年度研究の成果や本校児童の実態もふまえて、今年度は、「学級集団づくり」に視点をあてて研究を進めていきたい。

昨年度から実施しているQ Uなどを活用して、人間関係をはぐくむ上での基本的な社会性を身につけるための指導方法の工夫や互いに関わり合う場面を意図的に設定した授業作りなどに取り組んでいく。そのことが、自分の考えや思いを表現し合う児童の育成につながり、ひいては、学校教育目標に迫ることができると考え、本研究主題を設定した。

4. 研究仮説

学級集団の力を高めるための取り組みを工夫していくことで、互いを認め合える関係がはぐくまれ、互いに学び合う子どもが育つだろう。

5. 研究の内容と方法

(1) 授業研究

・研究授業（低学年ブロック、高学年ブロック各1本）、一人1実践授業

(2) テーマに関する理論学習

(3) 特別支援教育の研究

(4) Q-Uの実施と分析・活用の充実

(5) 今日の教育課題関連の学習会

年間校内研修計画

研究主任 武井 麻子

月	日	内 容	担当者	TC 要請
4	4	・今年度の研究の方向性について	研究主任	
	1 2	・今年度の研究のテーマ，内容，組織，計画について	研究主任	
	1 7	・今年度の研究のテーマ，内容，組織，計画等の決定 ・ブロックの組織の決定（ブロック長，授業者等）	研究主任	
	2 4	・学習会①（テーマに関わって） ・ブロック別研究	研究主任 ブロック長	
5	1 3	・学校全体としての取り組みについて	研究主任	
	2 2	・学習会①（特別支援教育に関わって）	特支コーディネーター	
	2 7	・ブロック別研究 ・キャリア教育の学年年間計画作成について	ブロック長 キャリア教育担当	
6	1 2	・研究授業Ⅰの指導案検討	授業者	
	2 6	・研究授業Ⅰ（第5学年）	授業者	○
7	1 0	・ブロック別実践授業の研究会①	授業者 ブロック長	
8	1 9	・Q－Uの分析・活用の充実 ・キャリア教育の年間計画について	各担任 キャリア教育担当	
	2 8	・教育課程説明会の還流報告	教科主任	
9	4	・ブロック別研究	ブロック長	
10	1 6	・研究授業Ⅱの指導案検討	授業者	
	2 3	・ブロック別研究	ブロック長	
	3 0	・研究授業Ⅱ（第2学年）	授業者	○
11	6	・ブロック交流会について ・ブロック別実践授業の研究会②	研究主任 授業者 ブロック長	
12	4	・教育課程の見直し作業	研究主任	
1	2 9	・Q－Uの分析・活用のまとめ ・校内研究の成果と課題アンケートについて ・ブロックの研究の成果と課題について	各担任 研究主任 ブロック長	
2	1 9	・校内研究の成果と課題のまとめ ・研究紀要作成について	授業者 研究主任	
	2 6	・研究紀要の作成	各担当	
3	3	・研究紀要製本	研究主任	

